


事業整理シート


事業名	消防本部車両等更新整備事業	整理番号	3202-020			
所管	消防本部 警防課	予算款項目	広域行政組合日般会計	4	1	1

●事業の種類と位置付け

事業期間		～		根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	7-7-2	施策名:	広域行政体制の充実・強化	
個別計画での位置付け	消防車両等整備計画				
SDGsでの位置付け	目標3	すべての人に健康と福祉を			
	目標11	住み続けられるまちづくりを			
国土強靱化計画における位置付け	b-3	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足			



3 すべての人に健康と福祉を



11 住み続けられるまちづくりを

●事業の内容

目的	住民の生命、身体、財産の保護と被害の軽減を図る。
対象	管内(御殿場市・小山町)全域
手段	消防車両更新計画に基づき、救急車、水槽付き消防ポンプ自動車の更新
令和5年度末までの事業実施状況	須走分署高規格救急車を更新
事業の背景・住民意見の反映	令和5年の火災件数は33件で前年に比べ9件増加、救助件数は60件で前年に比べ10件増加、救急件数は5,450件で前年に比べ287件増加した。今後も、災害時における住民の生命、身体財産の保護及び救命率の向上を目指す。
事業の評価と改善(R5→R6)	消防車両等更新計画に基づき計画的に更新しているが、緊急度、優先度を検討し更新を進める。

●事業計画（単位：千円）


		令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
事業内容	小山消防署 水槽付消防ポンプ自動車		・富士岡分署高規格救急車 ・富士岡分署水槽付消防ポンプ自動車	小山消防署 高規格救急車	/
	事業費	83,400	131,000	46,000	260,400
財 源 内 訳	国補		14,957		14,957
	防衛				0
	県補	10,000	14,985	10,000	34,985
	市債	66,000	90,900	32,400	189,300
	財繰				0
	負担				0
	小山	1,772	2,433	862	5,067
	寄付				0
	その他				0
一般	5,628	7,725	2,738	16,091	

事業整理シート

事業名	富士岡分署整備事業	整理番号	3202-080			
所管	消防本部 消防総務課	予算款項目	広域行政組合日般会計	4	1	3

●事業の種類と位置付け

事業期間	2022年度 (令和4年度)	～	2028年度 (令和10年度)	根拠法令・要綱等	消防組織補第1条・耐用年数省令
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
国土強靱化計画における位置付け	b-9	災害救助における活動拠点、資機材等の不足			



●事業の内容

目的	地域住民の安全・安心を確保するため、富士岡分署の移転建設事業により署配置の適正化、消防力の強化、職場環境の改善等を図り、複雑・多様化する災害に備える。
対象	管内(御殿場市・小山町)住民及び消防職員
手段	富士岡分署庁舎建設に係る土地購入費、工事費等は御殿場市が負担、その他については御殿場市・小山町広域行政組合が負担して事業を実施する。
令和5年度末までの事業実施状況	建設用地を決定し、当該用地の測量等、購入準備を行うと共に、基本計画策定業者を決定した。
事業の背景・住民意見の反映	富士岡分署は昭和51年に建設され48年が経過し、公共施設総合管理計画において最優先で建替えが必要な施設として位置付けられている。管内の救急件数は100件/年の割合で増加し令和5年は5,450件となり、富士岡分署の救急件数は783件となった。富士岡地区の人口も16,494人と開署当時に比べ大幅に増加し、災害の多様化や大規模住宅及び商・工業施設の開発から住民の安全・安心を確保するために本事業は必要不可欠である。
事業の評価と改善 (R5→R6)	令和5年度に分筆測量業務が終了し、基本計画策定業者を決定したため、令和6年度は用地売買契約、基本計画策定、基本・実施設計業者の決定等を実施する。


●事業計画 (単位：千円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
	事業内容	基本・実施設計 造成工事(1/2年目)	造成工事(2/2年目) 建設工事(1/2年目) 工事監理(1/2年目)	建設工事(2/2年目)、工事監理(2/2年目)、外構工事、備品購入、引越し等委託、指令装置移設、解体設計	/
事業費		135,500	501,000	874,200	1,510,700
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	100,800	375,000	606,300	1,082,100
	財繰				0
	負担				0
	小山			15,664	15,664
	寄付				0
	その他				0
一般		34,700	126,000	252,236	412,936

事業整理シート

事業名	小山消防署整備事業	整理番号	3202-100			
所管	消防本部 消防総務課	予算款項目	広域行政組合日般会計	4	1	2

●事業の種類と位置付け

事業期間	2021年度 (令和3年度)	～	2029年度 (令和11年度)	根拠法令・要綱等	消防組織補第1条・耐用年数省令
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
	国土強靱化計画における位置付け	b-9	災害救助における活動拠点、資機材等の不足		

●事業の内容

目的	地域住民の安全・安心を確保するため、小山消防署の移転建設事業により署配置の適正化、消防力の強化、職場環境の改善等を図り、複雑・多様化する災害に備える。
対象	管内(御殿場市・小山町)住民及び消防職員
手段	小山消防署建設に係る費用は小山町が負担し、その他については御殿場市・小山町広域行政組合が負担して事業を実施する。
令和5年度末までの事業実施状況	小山町主体で建設用地の購入、基本計画、基本設計が終了し、設計施工一括発注方式により実施設計・施工業者を決定した。
事業の背景・住民意見の反映	小山消防署は昭和47年に建設され52年が経過し、公共施設総合管理計画において最優先で建替えが必要な施設として位置付けられている。管内の救急件数は100件/年の割合で増加し令和5年は5,450件となった。小山町の救急件数も開署当時の259件が令和5年は1,239件となり大幅に増加しており、災害の多様化や大規模な商・工業施設の開発等から住民の安全・安心を確保するため本事業は必要不可欠である。
事業の評価と改善 (R5→R6)	令和5年度に基本設計が終了し、実施設計・施工業者を決定したため、令和6年度は実施設計に合わせて造成工事を実施する。


●事業計画 (単位：千円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
事業内容	建設事業委託(3/4年目) 備品等購入 指令装置移設 解体設計		建設事業委託(4/4年目) 引越し等委託 解体工事		/
事業費		757,200	538,100		1,295,300
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	2,000	40,500		42,500
	財繰				0
	負担				0
	小山	701,737	491,927		1,193,664
	寄付				0
	その他				0
一般	53,463	5,673		59,136	

事業整理シート

事業名	消防本部庁舎等改修事業	整理番号	3202-110			
所管	消防本部 消防総務課	予算款項目	広域行政組合日般会計	4	1	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2023年度 (令和5年度)	～	2028年度 (令和10年度)	根拠法令・要綱等	消防組織補第1条・耐用年数省令
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
					
国土強靱化計画における位置付け	b-9	災害救助における活動拠点、資機材等の不足			

●事業の内容

目的	地域住民の安全・安心を確保するため、消防本部庁舎の増改築等の改修を行うことにより、消防力の強化、職場環境の改善等を図り、複雑・多様化する災害に備える。
対象	管内(御殿場市・小山町)住民及び消防職員
手段	消防本部庁舎の老朽箇所及び増改築部分を明確化し、緊急性のあるものは優先して改修を行い、その他については消防本部庁舎等基本・実施設計策定後に設備更新を含めた改修を国庫補助(防衛8条)を使用して実施する。
令和5年度末までの事業実施状況	空調や照明設備LED化は令和4年度までに改修済みで、令和5年度に消防本部庁舎老朽度調査を実施して改修箇所の洗い出しを行い、緊急に修繕が必要と判断された車庫シャッターの改修設計を実施した。
事業の背景・住民意見の反映	消防本部庁舎は平成6年に建設され30年余りが経過し、公共施設総合管理計画において既に中規模改修時期を大きく過ぎ、長寿命化改修の時期が近づいている。また、近年は空調、トイレ、シャッター等の修繕が多発している。今後、建物の長寿命化修繕、設備の更新、女性活躍推進や救急需要増加に対応する諸室の整備等を計画的に進め消防力の強化を図る。
事業の評価と改善 (R5→R6)	令和5年度は車庫シャッターの改修設計を実施し、令和6年度に車庫シャッターの改修修繕と老朽度調査に基づいた消防本部庁舎等リニューアル計画を策定する。

●事業計画 (単位：千円)


		令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
事業内容	基本・実施設計			改修工事 工事監理費	/
	事業費	40,700		242,600	283,300
財 源 内 訳	国補				0
	防衛			55,149	55,149
	県補				0
	市債			140,500	140,500
	財繰				0
	負担				0
	小山	9,748		11,245	20,993
	寄付				0
	その他				0
一般	30,952		35,706	66,658	

事業整理シート

事業名	高機能消防指令システム更新事業	整理番号	3202-120			
所管	消防本部 通信指令課	予算款項目	広域行政組合日般会計	4	1	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2025年度 (令和7年度)	～	2027年度 (令和9年度)	根拠法令・要綱等	消防組織法第1条
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
国土強靱化計画における位置付け	b-3	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足			



●事業の内容

目的	老朽化した高機能消防指令システムの更新を行う
対象	管内(御殿場市・小山町)住民・消防職員
手段	計画的に設計業務を行い、結果に基づいた更新を行う
令和5年度末までの事業実施状況	高機能消防指令システム更新計画による監理業務について、システム設計面及び工事設計面等基本構想から発注・契約準備及びシステム構築に向けて、確認調整し資料収集等を行っている。
事業の背景・住民意見の反映	平成21年度に高機能消防指令システムが導入され、平成29年度に安定的な維持のため、情報系、指令系の延命化事業で構成機器の部分更新を行い、年間約7000件の119番通報を受信し、継続使用しているが、経年により不具合が増加傾向にある中、今後、部品供給ができなくなり維持管理困難となることから全てを新規更新する必要がある。
事業の評価と改善 (R5→R6)	住民サービスを考慮し、高機能消防指令システムの安定稼働を図ることにより、市町民の安全が確保でき、確実な事業完了を目指す。基本・実施設計は令和6年度に発注し令和7年度に完了する見込み。

●事業計画 (単位：千円)


		令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
事業内容			施工監理業務 高機能消防指令センター(Ⅱ型)更新	施工監理業務 高機能消防指令センター(Ⅱ型)更新	/
	事業費		280,000	420,000	700,000
財源内訳	国補				0
	防衛		36,705	165,172	201,877
	県補				0
	市債		179,400	186,800	366,200
	財繰				0
	負担				0
	小山		15,303	16,293	31,596
	寄付				0
	その他				0
一般		48,592	51,735	100,327	

事業整理シート

事業名	消防救急デジタル無線更新事業	整理番号	3202-130			
所管	消防本部 通信指令課	予算款項目	広域行政組合日般会計	4	1	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2026年度 (令和8年度)	～	2028年度 (令和10年度)	根拠法令・要綱等	電波法
基本計画における位置付け	施策番号:	3-2-2	施策名:	消防力の強化	
	関連施策:	3-2-3	施策名:	救急・救助体制の整備	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
国土強靱化計画における位置付け	b-3	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足			



●事業の内容

目的	老朽化した消防救急デジタル無線の更新を行う
対象	管内(御殿場市・小山町)住民・消防職員
手段	計画的に設計業務を行い、結果に基づいた更新を行う
令和5年度末までの事業実施状況	令和8年度に更新予定の高機能消防指令システムとの共通インターフェイス使用及び両システムを整備する際の留意事項などについて検討している。現システムの定期的な保守を継続し、システムの安定稼働を図っている。
事業の背景・住民意見の反映	平成27年度に消防救急デジタル無線の運用が開始されたが、年数経過により修理対応不可な装置もあるため、基地局2台、移動局70台の全部更新をする必要がある。
事業の評価と改善 (R5→R6)	住民サービスを考慮し、消防救急デジタル無線の安定稼働を図ることにより、市町民の安全が確保でき、確実な事業完了を目指す。


●事業計画 (単位：千円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
	事業内容		基本実施設計(1/2年目)	基本実施設計(2/2年目)	/
	事業費		4,000	6,100	10,100
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山		958	1,461	2,419
	寄付				0
	その他				0
一般		3,042	4,639	7,681	

事業整理シート

事業名	斎場火葬炉修繕事業	整理番号	5304-010			
所管	広域行政組合 庶務課	予算款項目	広域行政組合一般会計	3	1	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2021年度 (令和3年度)	～	2025年度 (令和7年度)	根拠法令・要綱等
基本計画における位置付け	施策番号:	5-3-4		施策名: 墓園・斎場の整備
	関連施策:			施策名:
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画・斎場長寿命化計画(個別計画)			
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを		
国土強靱化計画における位置付け				

●事業の内容

目的	斎場火葬炉の主要耐火物等を計画的に整備(修繕)を行うことで、設備の延命化を図る。
対象	管内(御殿場市・小山町)及び管外利用者
手段	主燃炉、再燃炉及び共通煙道の耐火物積替え並びに付帯設備交換
令和5年度末までの事業実施状況	火葬炉2基の耐火物積替え及び1基の増設が完了した。また、遺体保冷库1台を更新し収容可能数が1体増加となり3体まで受け入れ可能とした。人体火葬炉の使用状況は、平成30年度の1,085件に対し令和5年度は1,321件であり増加傾向となっている。
事業の背景・住民意見の反映	火葬炉は延命化を図るため10～15年に一度大規模な修繕を行う必要があり、令和3年度から5か年計画で順次実施していく。また、今後の火葬件数の増加及び大型棺への需要に対応するため、新型火葬炉を1基増設するとともに既存火葬炉1基を新型炉に更新する。
事業の評価と改善(R5→R6)	動物炉は人体の火葬炉と比べ傷みの進行が遅いことが判明し、定期点検時の状態により修繕の時期を改めて設定することとした。人体の火葬炉の修繕は計画通りに進み、安定的な稼働を維持している。


●事業計画 (単位：千円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・盤内計装機器修繕 ・1号炉Nブロック交換 ・動物炉冷却ファンモーター交換 			/
	事業費	30,000			30,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	22,500			22,500
	財繰				0
	負担				0
	小山	1,772			1,772
	寄付				0
	その他				0
一般	5,728			5,728	

事業整理シート

事業名	斎場改修事業	整理番号	5304-020			
所管	広域行政組合 庶務課	予算款項目	広域行政組合日般会計	3	1	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2023年度 (令和5年度)	～	2040年度 (令和22年度)	根拠法令・要綱等
基本計画における位置付け	施策番号:	5-3-4	施策名:	墓園・斎場の整備
	関連施策:		施策名:	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画・斎場長寿命化計画(個別計画)			
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを		
国土強靱化計画における位置付け				

●事業の内容

目的	斎場改修を行うことで、施設の長寿命化を図りつつ、利用者の要望への対応を図る。
対象	管内(御殿場市・小山町)及び管外利用者
手段	建物老朽度調査に基づく、建物の外部改修、増設により長寿命化と利便性の向上を図る。
令和5年度末までの事業実施状況	斎場予約システムを導入し、Webで空き状況の確認及び予約が可能となり、葬祭業者及び斎場利用者の利便性が向上した。人体火葬炉の使用状況は、平成30年度の1,085件に対し令和5年度は1,321件であり増加傾向となっている。
事業の背景・住民意見の反映	施設の状況は、改修後15年が経過し老朽化による不具合が発生している。また生活様式の変化や新型コロナウイルス感染症拡大の経験により施設に対する要望が変化している。稼働状況は、火葬件数が増加傾向にあり、冬期にフル稼働となる日がある。今後、施設の延命化を見据えた計画的な修繕を実施するとともに、1日当りの火葬件数増加に対応すべく改修を行う。
事業の評価と改善(R5→R6)	斎場火葬炉修繕事業による火葬炉1基増設等を含め、1日当りの火葬数増加に対応する準備は計画的に進んでいる。市道を挟み対側に図書館が建設されるため、目隠しフェンス等の外構工事を改修計画に追加した。



●事業計画 (単位：千円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
事業内容		・外壁等改修工事 ・収骨室等増築工事 ・工事監理委託 ・収骨室用備品購入	・火葬炉付帯設備修繕	・火葬炉付帯設備修繕 ・空調設備修繕	/
	事業費	72,500	5,000	14,200	91,700
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	53,100			53,100
	財繰				0
	負担				0
	小山	4,582	1,181	3,354	9,117
	寄付				0
	その他				0
一般	14,818	3,819	10,846	29,483	

事業整理シート

事業名	衛生センター施設修繕整備事業	整理番号	5505-010			
所管	広域行政組合 衛生センター	予算款項目	広域行政組合一般会計	3	2	2

●事業の種類と位置付け

事業期間	2011年度 (平成23年度)	～	2028年度 (令和10年度)	根拠法令・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
基本計画における位置付け	施策番号:	5-5-5	施策名:	衛生センターの整備	
	関連施策:	7-7-2	施策名:	広域行政体制の充実・強化	
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標6	安全な水とトイレを世界中に			
	目標11	住み続けられるまちづくりを			
国土強靱化計画における位置付け	f-3	汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止			

●事業の内容

目的	衛生センターの主要装置の整備(修繕)を行うことで、施設の延命を図る。
対象	管内(御殿場市・小山町)住民
手段	曝気槽散気管装置ディフューザー交換修繕、I 剤溶解槽交換修繕、電磁流量計交換修繕
令和5年度末までの事業実施状況	高濃度臭気用生物脱臭ブロワ交換及びろ過器整備の修繕を実施した。 受入れたし尿等搬入量は、平成30年度の43,274m ³ に対し令和5年度は45,520m ³ であり緩やかな増加傾向となっている。
事業の背景・住民意見の反映	施設稼働後39年が経過し、機械設備、各槽等の老朽化に対応するため補修整備を行う。2015年(平成27年)に施設の躯体調査を行った結果、躯体の健全性は保たれているとの調査結果から、更なる施設の延命化を図るため、今後、機械設備等の修繕整備を行う必要がある。
事業の評価と改善(R5→R6)	令和5年度に施設修繕整備を実施したことにより、良好な機械装置の環境を保ち、公害防止協定の排出基準値を遵守した。引続き、精密機能検査に基づき、施設の老朽化及び経年的な消耗に対し、劣化状態を見極め修繕内容の優先順位を見直し、適時、適切に改善を行っていく。

●事業計画 (単位：千円)



		令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
事業内容	曝気槽散気管装置ディフューザー交換修繕		I 剤溶解槽交換修繕	電磁流量計交換修繕	/
事業費		13,200	14,000	11,000	38,200
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山	3,495	3,706	2,912	10,113
	寄付				0
	その他				0
一般	9,705	10,294	8,088	28,087	

事業整理シート

事業名	ごみ焼却施設周辺整備事業	整理番号	6601-030			
所管	広域行政組合 資源循環課	予算款項目	広域行政組合日般会計	3	2	1

●事業の種類と位置付け

事業期間	2015年度 (平成27年度)	～	2035年度 (令和17年度)	根拠法令・要綱等	ごみ焼却施設の建設及び操業に関する合意書
基本計画における位置付け	施策番号:	6-6-1		施策名:	都市計画道路・幹線道路の整備推進
	関連施策:	6-6-2		施策名:	生活道路の整備
個別計画での位置付け	御殿場市・小山町広域行政組合公共施設総合管理計画				
SDGsでの位置付け	目標11	住み続けられるまちづくりを			
	目標12	つくる責任 つかう責任			
国土強靱化計画における位置付け	f-4	地域交通網の長期間にわたる機能停止			

●事業の内容

目的	ごみ焼却施設の周辺地区である板妻区及び神場区への地域振興策として、道路、河川等の公共工事を実施する。
対象	板妻区及び神場区の住民
手段	地元区の要望に基づき、広域行政組合が御殿場市に委託して道路、河川等の公共工事を実施する。
令和5年度末までの事業実施状況	平成27年度から、板妻区及び神場区の要望に基づき道路改良工事、生活道路舗装工事及び側溝改修工事等を道路河川課に委託し、実施箇所の延べ数は39件となっている。
事業の背景・住民意見の反映	ごみ焼却施設建設及び操業に関する基本協定書に基づき、地元区との定期協議会で内容を協議し地元区の要望に即した公共工事を実施する。
事業の評価と改善 (R5→R6)	毎年度、地元区と協議し、要望箇所を見直し、関連する都市計画道路(神場・板妻・印野線)の工事の進捗等を考慮して、効率的な工事を実施している。

●事業計画 (単位：千円)

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	計
事業内容	道路整備・河川改修工事	道路整備・河川改修工事	道路整備・河川改修工事	道路整備・河川改修工事	/
事業費		30,000	30,000	30,000	90,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	27,000			27,000
	財繰				0
	負担				0
	小山	709	7,086	7,086	14,881
	寄付				0
	その他				0
一般	2,291	22,914	22,914	48,119	